

地方創生に向けた市町村支援



林業や木材産業で地方創生を推進する市町村を支援するため、局や署の研修等への市町村職員の参加や「森林・林業コンシェルジュ」による森林・林業を活用した地域振興への支援を推進します。

研修への市町村職員の参加を推進

森林管理局が行う研修や森林管理署等が行うOJTへ、市町村の林務担当職員等にご参加いただくことで、市町村職員の技術力向上に協力します。

また、企業等から講師を招き局が行う研修を、地域の方々にも聴講していただけるよう公開講座とします。



市町村職員が参加した研修の様子

6月29日(予定) 造林・保護研修で公開講座を実施

タイトル(仮): 北海道におけるエゾシカ対策

講師: 松浦 友紀子氏

(森林総合研究所北海道支所主任研究員)

森林・林業コンシェルジュの取組

森林・林業による地域振興に取り組む市町村を支援する「森林・林業コンシェルジュ(富士大学 岡田学長に委任)」を、引き続き6市町村に派遣するなど、取組推進に向けてアドバイス等を行います。

対象市町村: ①青森県西目屋村、②岩手県紫波町、③同西和賀町、④宮城県七ヶ宿町、⑤秋田県仙北市、⑥山形県最上町

事例1: 森林再生プランの策定支援 (七ヶ宿町)

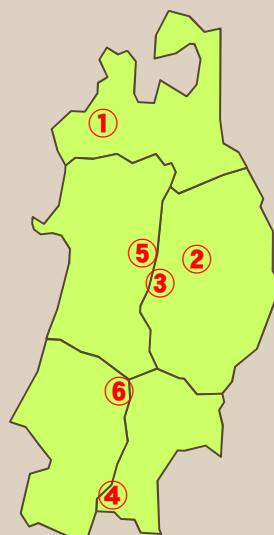


七ヶ宿町の森林・林業再生に向け、「七ヶ宿町森林再生プラン」策定を支援。

【林業懇談会で助言をする岡田学長】

事例3: 民国連携した森林環境教育プログラムの提案 (最上町)

NPO、町、最上支署の3者による協定を締結。森林資源の循環利用を学ぶ森林環境教育プログラムを連携して実施予定。



事例2: 木質資源活用に向けた取組支援 (西目屋村)



村と森林管理署が共同で、林地残材活用に向けた実証実験を実施。また、県も加わり森林整備推進協定を3者間で締結。